



松阪 Matsusaka

ネイチャーマップ

ネイチャーマップについて

本マップは、松阪市域の自然の現況を認識していただくとともに、自然観察の手引きとして活用し、これらの動植物、地形地質を大切にさせていただくことを目的に、代表的な観察ポイントを紹介したものです。なお、一部の動植物については、種の保全上、種名あるいは生息・生育地の掲載を割愛しました。

編集委員：富田晴男（絶滅及び希少種、野生・野生動物）、市川雄二（鳥類）、市橋 南（昆虫類）、具原康樹（ツツジ類）、加田剛敏（植物）、北村淳一（魚類）、津村善博（地形地質）、中野 環（貝類、甲殻類）
写真提供（上記編集委員除く）：大矢正雄、越方清人、熊野健一、堀崎哲也、中西亮介、宮本 佳木、森本 彰

お問い合わせ：松阪市環境部環境課 〒515-8515 松阪市南町1340-1
TEL 0599-53-4425 FAX 0599-26-4322

松阪 天然記念物

| | | | | | | | | |
|---|---|--|---|--|---|---|--|--|
| <p>① 月出の中央構造線</p> <p>中央構造線は西南日本を大断層する断層で関東から長野県諏訪郡付近をとり、紀伊半島、四国、九州にいたる延長1000kmにもおよびます。三重県内では、北側には御前山丘陵、南側には三波川変成岩帯が接しています。この断層帯は高さ80m、幅約50mで御前山丘陵帯と三波川変成岩の黒色片岩が北傾斜約60°の中央構造線に沿ってあり、その状況を明確に観察できる貴重な場所であることから、国の天然記念物に指定されています。</p> <p>月出の中央構造線</p> | <p>② 水屋の大クス</p> <p>飯高町赤穂の水屋神社のクスノキは、樹齢1000年を越えたと云われ、樹高35mに達する巨木であることから、県の天然記念物に指定されています。神社にはムササビが生息しており、葉や糞などが観察できます。また、樹皮の腐かを利用して住居を築るキノボリトナゲツも記録されています。</p> <p>神社正面</p> <p>大クス</p> <p>ムササビ</p> | <p>③ 蓮のムシトリスミレ群落</p> <p>ムシトリスミレはタヌキモ科に属する食虫植物で、濡った岩盤に生じ、5月から6月にスミシロのような花をつけます。蓮のムシトリスミレはイタカムシトリスミレと呼ばれ、県の天然記念物に指定されています(生育地の荒廃は懸念しました)。</p> <p>イタカムシトリスミレ</p> | <p>④ つばき(オランダ紅)</p> <p>飯高町赤穂の米辺寺にある幹周1.7m、推定樹齢300年のツバキです。花に雄蕊がなく、1片ずつ咲く変わった品種で、市の天然記念物に指定されています。</p> <p>平成29年6月指定解除</p> <p>ツバキ</p> | <p>⑤ エドヒガン桜</p> <p>飯高町赤穂の米辺寺境内には、市の天然記念物に指定されているエドヒガン桜の巨木が分枝しています。樹齢400年を越える巨木で花期には大勢の人が訪れます。</p> <p>エドヒガン桜</p> | <p>⑥ 山茶花</p> <p>飯高町赤穂の茶畑には、市の天然記念物に指定されているサザナカの花が分枝しています。この木は樹齢120年以上と云われています。</p> <p>サザナカ</p> | <p>⑦ 福本の大トチノキ</p> <p>飯高町富永にある樹高約22m、幹周約6.85mのトチノキで、市の天然記念物に指定されています。</p> <p>トチノキ</p> | <p>⑧ 旧川小学校跡街並松</p> <p>飯高町富永の旧川小学校跡にある街並松は、和歌山街道に現る数少ない街並松の一つで、市の天然記念物に指定されています。</p> <p>平成29年9月指定解除</p> <p>街並松</p> | <p>⑨ 東漸寺のゴヨウマツ</p> <p>飯高町東の東漸寺にあるゴヨウマツは、樹高約14m、幹周約2.95mで県下最大級の大きさがあり、市の天然記念物に指定されています。</p> <p>ゴヨウマツ</p> |
|---|---|--|---|--|---|---|--|--|

| | |
|---|--|
| <p>⑩ 黒瀬神社の夫婦スギ</p> <p>飯高町黒の黒瀬神社の夫婦スギは、樹高約38m、幹周約8.85mの巨木で、市の天然記念物に指定されています。ムササビが生息し、昆虫類ではイセヒゲボンナムシが多く見られるほか、クモ類のキノボリトナゲツやモリスミズメが記録されています。</p> <p>神社正面</p> <p>夫婦スギ</p> <p>イセヒゲボンナムシ</p> <p>ムスズメ</p> | <p>⑪ 青田の大カシ</p> <p>飯高町青田にある樹高約20m、幹周約7.37mのアカガシの木で、市の天然記念物に指定されています。</p> <p>大カシ</p> |
|---|--|



● 天然記念物関係 (地域を定めず)

○動物

- カモシカ (特別天然記念物) 飯高町及び飯南町の山地に分布しています。
- ヤマネ (国指定天然記念物) 飯野地区で記録されています。
- ネコギキョウ (国指定天然記念物) 飯田川上流部及び飯野地区中村川中流に分布しています。
- 日本トビ (国指定天然記念物) 飯野地区
- 日本地 (地産・小田嶋、舟形、河内、八木) (国指定天然記念物) 飯野地区
- オオダイオウハジケ (国指定天然記念物) 飯田川上流部に分布しています。

○植物

- イセナデシコ、イセキョウ、イセシヨウ (県指定天然記念物) 登録品種

カモシカ ヤマネ
ネコギキョウ オオダイオウハジケ

● 地域の重要な種 (動物関係)

○両生類

- カスミサンショウウオ 平地、丘陵地の林縁などに生息する小形のサンショウウオで、東部地域で局所的に記録されています。
- カマツキガエル (三重県指定希少野生動物種) ため池に生息しています。

○魚類

- カワタマモロコ (三重県指定希少野生動物種) ため池に生息しています。
- イシモチタナゴ 飯田川水系に生息しています。

カスミサンショウウオ タルマガエル
カワタマモロコ イシモチタナゴ

松阪 植物

| | |
|---|--|
| <p>① 荒瀬不動尊のツツジ群落</p> <p>飯高町赤穂の荒瀬不動尊では、初夏に周辺全体がツツジの花で赤く染まる様が見られます。また、淡黄緑色で腹面に黒帯があるアナカガニギモが記録されています。</p> <p>ツツジ</p> <p>アナカガニギモ</p> | <p>② 三峰山のシロヤシオ群生地</p> <p>三峰山の山頂付近にはシロヤシオの群生地があり、初夏にきれいな花が観察できます。</p> <p>シロヤシオ</p> |
|---|--|

| | |
|---|---|
| <p>③ 波瀬神社及び周辺</p> <p>波瀬神社周辺や公民館付近では大型ユリ科の一種であるヤマユリ(当地では、波瀬ユリと呼んでいます)が見られます。また、波瀬神社の本木には、袋状の住居を築るキノボリトナゲツや南方面で大型ユリ科を築るスズメギキョウが記録されています。</p> <p>ヤマユリ</p> | <p>④ ヤマユリの群生地</p> <p>ヤマユリは山地に生ずる高さ1m以上の多年生ユリ科で、夏季に並行して1から10数個の芳香ある大型の花をつけます。</p> <p>ヤマユリ</p> |
|---|---|

松阪 地形地質

| | |
|--|--|
| <p>① 中央構造線の断層地形</p> <p>中央構造線は西南日本を断層する大断層である。紀伊半島、四国、九州にいたる延長1000kmにもおよびます。この断層帯は高さ80m、幅約50mで御前山丘陵帯と三波川変成岩の黒色片岩が北傾斜約60°の中央構造線に沿ってあり、その状況を明確に観察できる貴重な場所であることから、国の天然記念物に指定されています。</p> <p>断層地形</p> | <p>② 三波川変成岩類</p> <p>三波川変成岩類は今から約1億年前に地下30kmの深部で変成された岩石で、黒色片岩や石英片岩などの地層です。三波川変成岩類は中央構造線の南側に帯状に分布しています。御田川河床の多くのところで観察できます。</p> <p>黒色片岩</p> |
|--|--|

| | |
|--|--|
| <p>③ 宮ノ谷の熊野鹿性岩</p> <p>今から約1400万年前、火山活動で生成された鹿性岩があります。これと同じマグマから生じたものが隣りに分布しているチャート、泥岩、凝結凝灰岩などの層を取っています。</p> <p>石灰岩</p> <p>火砕岩</p> | <p>④ 秩父帯にみられる層理の発達する石灰岩</p> <p>飯高町連付付近には秩父帯の地層が分布しています。秩父帯を構成する主たる岩石は砂岩・泥岩・石灰岩・頁岩で、石灰岩は層理が発達し、内層でも層理が観察できます。また、石灰岩と頁岩などの整合関係が観察されています。</p> <p>石灰岩</p> |
|--|--|

松阪 動物

| | |
|--|--|
| <p>① 飯高町赤穂のクモモリ類の生息地</p> <p>飯高町赤穂の米辺寺には、クモモリ類やクモモリ類が生息しています。</p> <p>飯高町宮前の洞穴</p> <p>飯高町宮前の洞穴は、クモモリ類やクモモリ類がくぐらぐぐと利用しています。</p> <p>クモモリ</p> | <p>② 局ヶ岳及び周辺</p> <p>局ヶ岳及び周辺には、ニホンモモンガが生息しています。</p> <p>局ヶ岳</p> |
|--|--|

| | |
|--|--|
| <p>③ 飯田川上流部の植物及び動物</p> <p>飯田川上流部の飯見山、高見山一帯はブナ林の他、トガサワラやアケボノツツジの自生地が見られます。動物ではヒメヒメズ、ツキノフグ、モンガ、ヒメズミ、ヤチネズミ、カシノカなどの哺乳類やオオダイオウハジケ、フチサンショウウオ、ハコネサンショウウオなどの両生類が生息しています。また、ホトトギス、ヤマガラ、クマタカ、ツツドリ、ウソ、ヤマドリ、メジロ、オオルリなどの山地性の鳥類が確認されているほか、10月初めにはサシバの渡りが見られます。オカモトツツヤナハシメ、ツツドリ、ツツドリ、ツツドリなどの山地性の昆虫、シノビメ、アケボノユウレイモ、サンゴドリヨウモリなどのクモ類やヤマタシ、クマタカ、ツツドリなどの鳥類が記録されています。</p> <p>ツツドリ</p> <p>ヒメヒメズ</p> <p>ウソ</p> <p>クマタカ</p> <p>ハコネサンショウウオ</p> <p>サンゴドリヨウモリ</p> <p>サシバ</p> <p>オオルリ</p> | <p>④ 蓮ダム湖畔周辺の哺乳類、鳥類など</p> <p>湖畔の二次林、雑木林では、ニホンザル、キツネ、タヌキ、テン、アナグマ、イノシシ、カモシカ、ノウサギなどの生活音が観察できます。ダム建設付近では、ツツドリ、メジロ、オオルリなどの山地性の鳥類が確認されています。また、ルリビタキ、ヤマセミ、オオルリなどが多くが確認されています。また、ルリビタキやヤマセミなどの昆虫類やフナ、オオノボイ、マイマイ、ハリマキなどの鳥類も見られます。</p> <p>アナグマ</p> <p>ヤマガラ</p> <p>ルリビタキ</p> |
|--|--|

■ マップの見方

本マップは、市域を東側(市街-低山地帯)と西側(山間地域)に分けて記載しています。地図上にそれぞれの分野で色を変えた点や区域で場所を表示し、その色と番号に対応した名称や簡単な説明とともに写真で解説しています。分野別の区分として、天然記念物、植物、動物、水辺、地形地質に区分しています。

■ 凡例

- 天然記念物 (赤線)
- 植物 (オレンジ線)
- 動物 (茶色線)
- 水辺 (青線)
- 地形地質 (紫線)

■ 松阪市の自然 (概説)

松阪市は三重県のほぼ中央部に位置し、総面積は623.77km²(平成20年10月1日時点)を有しています。市街地の広がる市域東部伊勢湾沿岸の低地から西に向かって標高が高くなっており、市域全体を概観すると、西から西部の山岳地、それに続く低山地帯と丘陵地、水田畑地と市街地の広がる平野部及び東部臨海部に大別されます。

市域を東西に貫流する飯田川は飯高町の舟戸川、木根川、木津谷川、瀬川などの源流部を遡り、森地区で合流して飯高町を東流し、市の南東部を流れて伊勢湾に注ぎます。飯高町と飯南町の

松阪 水辺

| | |
|--|--------------------------------------|
| <p>① 飯田川上流部カシカガエル及び魚類生息地</p> <p>大石町から上流部の本流及び各支流にはカシカガエルが連続的に観察できます。淡水魚類は種数・個体数とも豊富で、特に上流部には国指定の天然記念物であるネコギキョウが生息しています。飯田川水系には伊勢湾水系に本来生息している淡水魚類を豊富に観察することができます。また、ウツボガエルも観察できます。</p> <p>カシカガエル</p> | <p>② 飯田川上流部</p> <p>飯田川上流部</p> |
|--|--------------------------------------|

| |
|---|
| <p>③ モリアオガエルの小規模卵塊地</p> <p>飯高町引十九曲、波瀬、飯野などの飯田川上流部河川浸みの堰上では、初夏にモリアオガエルの白い卵塊の卵塊が観察できます。</p> <p>モリアオガエル卵塊</p> |
|---|

全県及び市南東部をあわせて市域には飯田川流域の大半が含まれます。

一方、飯野地区は雲出川支流中村川の流域に含まれ、中村川と飯田川・瀬川の間に沿って三波川、飯内川、愛宕川、金剛川などの河床勾配の緩やかな中小河川が流れています。

また、市街地西部の白米城跡から飯野川、黒坂山と連なる低山地帯には農業用のため池が点在しています。

これらの河川や河口部には干潟や低湿地帯が形成されており、特に雲出川、飯田川河口の干潟は県内でも最大級とされています。

植生を概観すると山地ではスギ・ヒノキ植林地帯が多くを占めていますが、人手の入り難い急峻地帯や標高の高い山頂付近などには自然植生であるブナ林やミズナラ林などもみられます。低い丘陵地帯では、雑木林のほか二次林(雑木林)が大半を占めています。平野部は人の居住地を除けば、水田や畑地の耕作地がほぼ全域を占めています。

このような自然環境を反映して動植物も東部臨海部の干潟や低湿地帯、各河川及びため池とその周辺地帯、市街地緑地及び西部山岳地帯などの各生態系にはそれぞれの環境を代表する多様な貴重種が生息・生育しています。